

令和7年8月5日(火)、1年生の希望者23名が糸魚川フィールドワークに参加した。今年度も、フォッサマグナミュージアムのご協力のもと実施しました。

まず、学芸員の方から、世界ジオパークについて、糸魚川の地質の多様性について、さらにヒスイの特徴についてレクチャーを受けた。その後、ミュージアムにて世界のいろいろな化石や実際のヒスイを見学した。また、日本列島の誕生の歴史についても詳しく学ぶことができました。



次に、フォッサマグナパークへ移動し、枕状溶岩を観察しました。どちらに傾いているか判断するのが難しそうな生徒もいました。フォッサマグナの断層の近くに降りた際は、断層を境にして地層を構成する岩石の性質が異なる点や、湧水の硬度にも差が生じるなどの説明を受け、参加生徒らは興味を持って耳を傾ける様子が見られました。



午後から須澤海岸へ行き、ヒスイを含む7種類の岩石を探すことに挑戦しました。判断が難しそうなものは、積極的に学芸員へ質問を重ねていました。火成岩、深成岩、変成岩などの火山岩や堆積岩は、種類と数が多いためすぐに見つかりましたが、ヒスイはなかなか見つけられずに苦心していました。



その後、ミュージアムに戻り博物館に隣接の化石の森において、化石探しに挑戦しました。レア度1～5までの化石があるそうで、ウミユリやコケムシの仲間の化石は見つけられていたが、アンモナイトや三葉虫などの化石は見つけれませんでした。採取した化石は、ミュージアム内の実験室に持ち帰り、岩石の薄片サンプルと一緒にスケッチを描いて特徴をまとめるという作業に取り組みました。見たものをそのまま描画するという作業に慣れずに、戸惑いながらも積極的に取り組む様子が見ることができました。



今回のフィールドワークを通して、私たちが住む立山－黒部ジオパークにも興味を示してくれたら良いと感じました。